

# いわてリノベーション シンポジウム

## 開催報告【建築住宅課】

平成30年1月31日(水)

岩手県公会堂大ホール



このシンポジウムは、空き家や空き空間を有効活用することによりその周辺エリアの活性化にもつなげる「リノベーションまちづくり」や、公民連携によるまちづくりを推進するために開催したものです。

今回は、これまでリノベーションスタディでもテーマとしてきた、公共施設や公園・道路等の公共空間の遊休化という課題に焦点を当て、そのリノベーションを通じたエリア価値向上の可能性について発信することを目的としました。

まず、国土交通省東北地方整備局建政部の鈴木武彦都市調整官から、主に公園の活用方法について、大阪城公園でのイベント開催をはじめ、全国の先進事例について御紹介いただくとともに、Park-PFI 制度等の国の施策について御説明をいただきました。

次に、一般社団法人公民連携事業機構の岡崎正信理事を進行役に、同機構の清水義次代表理事、同じく木下斉理事、鈴木武彦都市調整官、二戸市の五日市寿丸副主幹によるトークセッションを行いました。

トークセッションでは、公共空間が変わることによる周辺への波及効果や、二戸市における金田一温泉センターを含む都市公園のリノベーションの具体的事例の他、ILCを誘致するにあたってのまちづくりの方策や、まちづくりをするための自分の磨き方にまで話が及び、200名を超える参加者に、動き出すための情報や勇気を与えていただきました。

このシンポジウムをきっかけにして、県内にいたるところで、リノベーションされた公共空間を核とした魅力的なまちが生まれることを期待しています。



■トークセッション



■鈴木武彦都市調整官による講演